

令和7年11月13日
名古屋市信用保証協会

決算書を活かした経営支援講座を開催しました



名古屋市信用保証協会（会長 太田 宜邦）は、11月10日に「決算書を活かした経営支援講座」を開催いたしました。

講師に独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部地域・連携支援部の中小企業アドバイザーである工藤稔之氏をお招きし、決算書の見方・読み取り、ROA（総資産利益率）分析による企業評価、STRAC図（企業の収益構造を視覚化させる図）による収益構造分析を学びました。

講座では座学のほか、具体的な決算数値を用いたグループワークを行い、ROA分析などを用いて改善に向けた方向性について仮説を立てたうえでSTRAC図を作成し、限界利益率や損益分岐点売上高などをもとに目標利益額の達成に向けた改善策を検討しました。

今回の講座では、ROA分析とSTRAC図の組み合わせにより、多面的に分析を行うことにより改善の可能性を模索することができました。

参加者からは、「STRAC図を用いることにより、容易に損益分岐点分析を行うことができることを学びました。今後の保証業務や経営支援業務に活かしていきたい。」との声がありました。

事業者の決算内容や経営課題を深く理解することは、保証業務や経営支援業務において必要不可欠

欠です。

今後も、中小企業者の良きパートナーとして、金融支援や経営支援の役割を果たしてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

名古屋市信用保証協会 企画部 企画課

TEL：052-201-3041 e-mail：keieikikaku@cgc-nagoya.or.jp